

BELL DESIGNシリーズ リリース10 汎用CADバージョンアップ項目

システム全般(すべての製品に対応)

- Windows Vista,XP,2000 で動作します。Windows 95,98,ME,NT4.0では動作しませんので、気をつけてください。
- 短縮2文字コマンド名をコマンド名の後に表示するようにしました。
- カーソル座標値の表示場所をコマンド名表示の横に変更しました。

平行移動【MO】 Δ145.11 , Δ114.64 領

- コマンドを繰り返すためのスペースキー入力で、全角モードになっていても有効にしました。
- 実数の常駐ダイアログで、計算式を使えるようにしました。



- キーボードから座標を指定するときのカンマの代わりに「.」でも指定できるようにしました。(100. . 200)
- ビュー画面から直接、図面ファイルや部品ファイルを開くようにしました。
- 画層ビュー画面で、登録/表示/編集/出力状態を直接設定できるようにしました。
- マウスのホイールを回すと画面を拡大・縮小しましたが、キーボードのShift, Ctrlを押しながら回すと、画面を上下左右に移動するようにしました。
- 座標点指示によるトラッキングスナップを新しく追加しました。
(100,50 離れた座標にスナップ)

- バックアップファイルがあるとき、開くダイアログを表示するようにしました。
- フュージョンキーマットの図面と図面枠の図面を提供するようにしました。

CADデータインポート変換(すべての製品に対応)

- DWG/DXFインポートでAutoCAD2009形式に対応しました。
- DWG/DXFインポートで色の設定画面を表示するようにしました。
- JWWインポートで6.10aに対応しました。

CADデータエクスポート変換(すべての製品に対応)

- DWG/DXFエクスポートでAutoCAD2009形式に対応しました。
- SXFエクスポートで、変換設定画面を表示するようにしました。
- エクスポートするダイアログのファイル名に自動的に図面ファイル名が入るようにしました。

イメージデータ貼り付け(すべての製品に対応)

- ビットマップ以外に、JPEG、TIFF形式などのデータに対応しました。

一括プリンタ出力(すべての製品に対応)

- 異なる図面サイズの図面を一括で連続印刷できるようにしました。

ユーザカスタマイズ機能(Std, Proのみ)

- メニュー編集ユーティリティとキー割付で!,<CR>,<CANCEL>をボタンで入力できるようにしました。
- メニュー編集ユーティリティで、ツールバーとツールボックス間で定義内容をコピーできるようにしました。
- 常駐ダイアログ設定ユーティリティで、最新コマンドに対応しました。

図形コピー・移動 追加変更機能(すべての製品に対応)

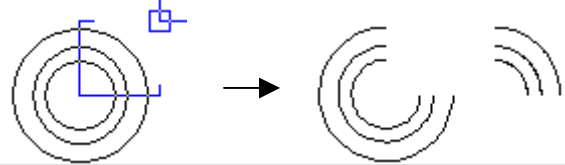
- 図形の移動/コピーコマンドで、移動先/コピー先を1回で終了できるようにしました。
- 反転移動/反転コピーで、反転軸を図形選択できるようにしました。
- 連続コピーでコピー図形を指定した反対側にもコピーできるようにしました。



- オフセットコピーで、オフセット間隔が繰り返せるようにしました。
- 線分/折線/引出線の構成点移動で角度補正に従うようにしました。

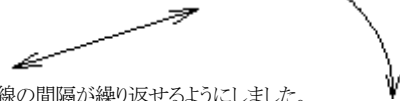
図形コピー・移動 追加変更機能(Std, Proのみ)

- 指定した範囲で切り取った図形を移動する機能を新しく追加しました。



図形作画 追加変更機能(すべての製品に対応)

- 選択した線分と同じ長さの平行線を作成する機能を新しく追加しました。
- 選択した図形の端点に矢印形状を作成する機能を新しく追加しました。



図形作画 追加変更機能(Std, Proのみ)

- 3点指定で四角形を作図する機能を新しく追加しました。

- 対角(領域)指定で、対角線、十字線、ひし形を作図する機能を新しく追加しました。



- 指定した2点の2倍の線分を作成する機能を新しく追加しました。



属性変更要素指定機能追加(すべての製品に対応)

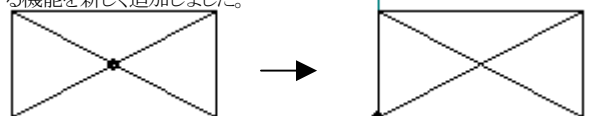
- 図形変更コマンドと同じように、寸法属性変更で選択した寸法線と同じ属性に変更できるようにしました。
- 注記属性変更で選択した注記と同じ属性に変更できるようにしました。

部品配置 追加機能(すべての製品に対応)

- 部品配置で、配置角度の常駐ダイアログを表示するようにしました。

部品配置 追加機能(Std, Proのみ)

- 部品やローカル部品、パナメ部品を仮配置し基準点をつかみなおして配置する機能を新しく追加しました。



計測・要素解析 追加変更機能(すべての製品に対応)

- 長さや角度、面積など計測した結果を注記で記入できるようにしました。
- 要素解析で画層の状態やマスク状態、部品名称・部品番号を表示するようになりました。

サンプルプログラム提供(Proのみ)

- UCLプログラムサンプルを提供するようにしました。
- C言語によるパラメータ受け渡しサンプルプログラムを提供するようにしました。
- API関数を追加しました。